

国際航空アライアンスによる国内旅客市場への影響 概要

土居 直史

本論文では、これまで見過ごされてきた、国際航空アライアンスによる純国内旅客数（国境を越えない旅客数）への影響について分析した。その影響を、直接的な影響（「直接効果」）と、国際旅客数の変動を経由した影響（「間接効果」）とに分けて考察した。日本の航空旅客産業のデータを使った推定の結果、共に有意な、正の直接効果（約 1.37%）と負の間接効果（約-0.50%）が観察された。有意に負の間接効果は、供給力の上限が存在するために、国内向けから国際向けへ供給力が移転されたことを示唆している。